

② 野 球 場

竣 工	昭 42. 9
面 積	20,783㎡
構 造	本塁・センター間 121m
両 翼	93m
	メインスタンド 鉄筋コンクリート造 一部3階建
観 覧 席	21,016人

a. 利用概況

中学・高校の東北大会及び県大会、県内の職場対抗大会の貸切期間のほか、毎年プロ野球（2軍）も利用している。8年度から夜間照明を設置し、時間も延長して利用に供している。

b. 利用者数の推移（人）

平 成	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度
利用者数	48,292	49,992	92,160	71,906	50,645

11年度は、スポーツ立県宣言のイベントなどで大幅な増となった。11年度がピークであるが特殊イベントを除けば、12年度の約72千人が実質的なピークである。

c. 目標と実績

一般への貸出しも増えているが、芝生の養生期間や内野の整備期間が必要であることと、天候等に左右されやすく年間の大幅な増員は難しい。11年度において、10年度ベースの利用者数を目安に48千人から5万人に目標を設定しているが、ほぼ達成されている。

③ 体 育 館

竣 工	昭 51.7
面 積	7,808㎡
主競技場	面積 1,739㎡ バドミントン1、バスケットボール2、バレーボール2、バドミントン8、テニス2、卓球 18、柔道、体操、ホッケー、その他
補助競技場	面積 843㎡ バスケットボール1、バレーボール1、バドミントン3、卓球、柔道、その他
構 造	鉄筋コンクリート造 一部3階建
観 覧 席	4,000人

a. 利用概況

年間を通して利用されており、土・日・祭日の9割以上が大会の貸切で利用されている。毎年2月初旬から次年度の貸切利用の申し込みを受け、利用日が重なった場合は、全国大会、東北大会、県大会の順に優先順位を設け、続いて職場等のスポーツ大会、その後にイベントや公演会等が貸切で利用している。貸切以外の日が一般に解放されており、平日の午前中は家庭婦人、16時から18時まで市内の中・高校生、18時以降21時までは各職場等のクラブチームが利用している。

b. 利用者数の推移（人）

平 成	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度
利用者数	105,382	91,278	99,960	100,220	127,009

9年度の利用者数が増員しているのは、全日本社会人卓球大会（3日間）、バスケットボール日本リーグ、日本ハンドボールリーグ等のイベント開催によるものである。13年度は平成6年度以降最高の利用者数となったが、青森県産業教育フェアが開催された影響である。

c. 目標と実績

団体利用については、利用する場所（最大3チーム）も限られており、大幅な増員は期待できない。現状維持と平日の13時から16時までの利用者増が課題となっているが、9年度と同様、各種の大会開催を働きかけるものとして、11年度において10万人から11万人を目標とした。13年度はスポーツ以外の利用によるが、目標をほぼ達成している。

④ 水 泳 場

竣 工	昭 41. 6
面 積	8,300㎡
競技施設	屋外50mプール 屋内25mプール 深水プール 徒歩プール（変形）
種 別	日水連公認屋外50mプール、屋内25mプール
構 造	室内プール 鉄筋コンクリート造一部2階建 プールハウス 鉄筋コンクリート造
観 覧 席	800人

a. 利用概況

屋外50mプールの利用時間は、6月20日から9月10日まで、屋内25mプールは、年間を通して利用されている。6月から8月の夏季期間利用者が年間の約7割近くであり、この期間の天候に左右されるところが大きい。

b. 利用者数の推移（人）

平 成	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度
利用者数	44,245	48,687	66,257	71,586	57,509

屋内プールは、昭和51年に建設されたもので、老朽化が進み平成9年度には、屋根の修理工事で減となったが、平成8年度からは冬期間の開館日数を増やしたことから、この期間の利用者は徐々に増えている。

11年度は好天にも恵まれたことと修理による閉館日がなかったこと、夜間の利用者が増えた（定着）ことから大幅な増になったが、12年度は東北水泳選手権が開催されたことによるもので、13年度はそれがないため減少した。尚、平成6年以降では12年度の72千人がピークである。

c. 目標と実績

夏期間利用者の8割が小・中学校生であり、年々減少傾向にある生徒数を考慮した場合、大幅な増員は難しい。11年度に、一般（大人）人が多く利用するような方策を検討し、年間6万人から7万人を目標としていたが、概ね達成されている。

⑤ 庭 球 場

竣 工	昭 52. 7
面 積	15,748㎡
競技施設	クレーコート12面
種 別	日本ソフトテニス連盟第1種公認コート
観 覧 席	5,500人

a. 利用概況

1種ソフトテニス公認コートであり、土・日・祭日の9割以上が大会に利用されている。平日は家庭婦人、高齢者の方々が利用しているが、コート全面（12面）が常時利用されることは少ない。

b. 利用者数の推移（人）

平 成	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度
利用者数	26,432	25,909	41,573	24,131	23,743

11年度は、スポーツ立県宣言のイベント教室や東北中学校ソフトテニス大会が開催されるなどで大幅な増となった。

c. 目標と実績

一般利用者の練習コート（1面～2面）が市内の各所に設置されてきたことや夜間照明がないことから、平日の利用者の増員は期待できない。11年度に、6面から12面を利用するような大会を主体とし、年間利用者目標を3万5千人から4万人にしたが、低調な利用に止まっている。

⑥ 相撲場・弓道場・洋弓場及び遊技広場・自由広場等の無料施設

利用概況

12年5月に武道館が開館したことから県大会等の試合が武道館で開催されることになり、相撲場と洋弓場は13年3月で用途廃止されたが、弓道場は13年度において約5千人の利用者があった。運動公園内の無料施設として、遊技広場、自由広場、三角広場、展望広場、遺跡広場、沈床園がある。園内ではジョギングや散歩、遊技広場・三角広場では、県内各地からの幼稚園・小学校の遠足、自由広場では朝野球、沈床園ではグラウンドゴルフやターゲットパードゴルフなど、日々多くの県民が利用している。

⑦ 蹴 球 場

竣 工	昭 53. 7
面 積	12,035㎡ (145m×83m)

a. 利用概況

14年ワールドカップサッカー開催地に立候補し、4万人収容のサッカースタジアムを建設する予定であったことから蹴球場の整備を行わなかった。県大会等に使用するようなグラウンドでなく、県大会の決勝等は陸上競技場の芝生部分を利用している。現在は市内の限られたクラブチームが利用している状況である。

b. 利用者数の推移（人）

平成	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度
利用者数	9,447	7,880	12,686	8,678	8,170

11年度は好天にも恵まれたことなどから多くの練習やクラブチームの試合に利用され利用者の増となった。ピークは平成6年度の約22千人であるが、7年度14千人、8年度12千人となり、9年度以降は上記のとおり減少傾向が続き8千人前後で定着している。

c. 目標と実績

県大会等に使用するグラウンドは原則として、芝生グラウンドで2面必要であり、今後の利用も小・中学校の大会やクラブチームの大会に限られる。11年度ベースの利用者数を目標としているが、実績は芳しくない。

3. 青森県営スケート場

所在地 青森市大字浜田字豊田地内

敷地面積 42,913.815m²

(屋内施設)	竣工	昭 60. 10
	面積	建築面積11, 884. 208m ²
	競技施設	スピードリンク 1面 1周250m
		ホッケーリンク 1面 30m ×60m (国際規格)
	構造	屋根 鉄骨造アーチトラスの立体架構
観覧席	2, 028席	
(屋外施設)	運動広場	3, 900m ² ジョキングコース 1周 860m
	駐車場	350台収容

a. 利用概況

昭和60年に開設され、平成2年までの6年間は年間利用者が年間15万人ほどあったが平成3年から徐々に減少し平成7年には10万人程度となった。スケート離れの防止策として、平成9年度から夏期間にインラインスケートを導入し、年間を通してスケートができる日本初の施設とした。また、各種イベント（モーターショー、アイスショー、大相撲等）への貸出しも行っている。

b. 利用者数の推移（人）

	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度
インラインスケート期間	12, 639	12, 079	11, 906	13, 744	13, 684
アイススケート期間	90, 461	68, 157	69, 088	53, 740	51, 655
スケート計	103, 100	80, 236	80, 994	67, 484	65, 339
会議室	7, 043	5, 491	8, 519	6, 439	9, 459
イベント貸切	61, 000	130, 891	39, 670	121, 545	22, 265
合計	171, 143	216, 618	129, 183	195, 468	97, 063
スケート以外の使用割合	(40%)	(67%)	(37%)	(65%)	(33%)

推移の説明 監査の結果 (P54) 参照

c. 目標と実績

11年度において、スケート利用者の拡大と定着を図るため、夏・冬期間とも様々な事業を展開しながら、夏場のインラインスケート・冬場のアイススケート利用者数を11万人に維持し、さらにイベントや大会等の招致により年間目標利用者数を21万人とすることを目標としていたが、スケート利用者の目標は大幅に下回っている。

4. 青森県武道館

所在地 弘前市大字豊田二丁目3番(弘前運動公園内)

敷地面積 22,810m²

竣 工	平12. 3
面 積	15, 714. 2m ²
主競技場	面積 2, 265m ² (47. 6×47. 6) 相撲1面(移動式土俵)、柔道8面、剣道9面、バスケットボール2面、バレーボール2面、卓球20台、バドミントン10面 テニス2面、体操、その他 観覧席 5, 000人
補助競技場	面積 419m ² 各種競技の練習など多目的に利用
柔道場	面積 529m ² 柔道2面
剣道場	面積 529m ² 剣道2面
相撲場	面積 777m ² 常設土俵1面、支度部屋 観覧席 480人(固定マス席)
近的弓道場	面積1, 344m ² 射場12人立、射程28m 観覧席100人(固定席)
その他	トレーニング室、会議室、軽食・喫茶室、ロビー、廊下

構 造	鉄筋コンクリート鉄骨造	
	面 積	1, 626. 9m ²
	宿泊人員等	宿泊人員 100人程度 1F～4F 和室16室 その他施設 ミーティングルーム兼食堂
	構 造	鉄筋コンクリート鉄骨造
遠的弓道場	竣 工	平成12. 3
	面 積	建 物 880m ² 芝 生 736m ²
	競技施設	射 場 6人立、射程60m 観覧席100人程度(固定席)
	構 造	鉄骨、鉄筋コンクリート造

a. 利用概況

武道館は、本県武道振興の役割を担い国際的・全国的な大会を開催できる中核スポーツ施設として、12年5月に開館した。5月の開館以来、開館記念こけら落としの世界選抜相撲青森大会をはじめ、東北弓道大会などの各種大会や競技団体等による宿泊強化合宿の場として幅広く活用されている。

b. 利用者数の推移（人）

区 分	12年度	13年度
主競技場	55,447	72,738
補助競技場	7,281	9,200
剣道場	2,482	3,804
柔道場	3,590	5,316
相撲場	844	813
遠的弓道場	1,789	1,350
近的弓道場	7,132	8,838
会議室	6,356	6,591
トレーニングルーム	15,485	26,914
合宿所	3,241	4,591
観客	99,645	58,917
計	203,292	199,072

c. 目標と実績

全国選抜高校相撲大会などの各種大会やトレーニング室の個人使用などが多く見込まれるところから、目標年間利用者数を20万人に設定していたがほぼ達成されている。

第4 所管課：教育委員会スポーツ健康課の概要

スポーツ健康課は、本県スポーツ振興事業の継続的な遂行を企画運営する役割を担っている。スポーツ健康課におけるスポーツ関連予算は、スポーツ立県推進事業費を含め約16億3千万円であるが、このうち82%にあたる約13億4千万円が事業団への支出となっている。内訳は、県営体育施設の管理委託費約8億1千万円とスポーツ事業費約5億3千万円である。平成15年2月に開催されるアジア冬季競技大会の開催準備業務や平成14年11月竣工予定の新青森県総合運動公園の建設に係わる業務は他の部課及び財団法人が対応している。スポーツ健康課の事業内容及び組織図は次の通りである。

(1) 事業内容

① 学校教育に関係する事業

- a. 学校体育（保健体育の学習指導）
- b. 健康教育（心身の健康教育）
- c. 学校安全（防災教育・避難訓練）
- d. 給食（0-157等食中毒未然防止等）

② スポーツの振興に関係する事業

- a. 生涯スポーツ（生涯にわたるスポーツライフの推進）
- b. 競技スポーツ（競技力を向上させる環境づくり）

(2) 組織図（職員25名）

